

聖霊降臨節第16週 主日礼拝

2020年9月13日

第一礼拝(午前8:30～) 第二礼拝(午前10:30～) CS・第三礼拝(午後1:00～)

前奏	(新聖歌162)		
招きのことば	『申命記』5章12～15節	司	会者
開会の賛美	新聖歌10「天地に勝る」	—	同
信仰告白	『使徒信条』(スクリーン参照)	—	同
代表祈禱	司	会者
聖書朗読	『ルカの福音書』14章1～6節(裏面参照)	司	会者
黙想	(3分間の換気を行います)		
説教	「生きた信仰、死んだ信仰」	近	伸之牧師
感謝の献金	新聖歌427「ただ主を」	—	同
諸報告	司	会者
※頌栄の賛美	新聖歌63「父御子御霊の」	—	同
※祝福の祈り	近	伸之牧師
※後奏	(新聖歌59-5)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 集会：山岸あけみ姉	音響：諸橋英樹兄 奏楽：近ゆかり姉	献金カゴ：沼田佐代子姉
第二礼拝	司会：近伸之牧師 集会：笹川清子姉	音響：山崎敬典兄	録画：近伸之牧師 献金カゴ：長谷川睦子姉
教会学校	担当：佐藤繁実兄		
第三礼拝	司会：片山健司兄	音響：片山初子姉	献金カゴ：佐藤繁実兄

説教メモ

1. のろわれた病とされていた水腫の人(民5:21, 22)をパリサイ人が食事に招くわけがない。彼は主を訴えるための道具だった。宗教指導者らは、律法は知っていたが自分の罪性にはまるで気づかない。
2. 律法遵守を教えていた彼らの信仰は形骸化していた。「みことばを守る」とは字面に執着することではなく、みことばに隠されたみこころを思うこと。それが生ける神の生きた信仰であり、人を真に自由にする。
3. 安息日は「働いてはいけない日」ではなく、神の栄光を現し、人へのあわれみを忘れない日。イエスは水腫の人だけでなく、パリサイ人へもあわれみを示した。そして主は再び、エルサレムへと歩を進める。

今週の暗唱聖句

「イエスは、律法の専門家、パリサイ人たちに、「安息日に病気を直すことは正しいことですか、それともよくないことですか」と言われた。」
(『ルカの福音書』14章3節)

個人、団体からの来信(8/26～9/1)

2020年9月13日

教団伝道部より「Zoomでキャラバン!」/人格尊厳委員会(カルト問題担当)より「異端注意喚起」/教団紙「世の光」第840号/宣教区より役務者会の議事録[8月30日(主)に開催]/新潟福音放送協力会より8月の会計報告

先週の集会出席者数

9/6(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性-	
		幼児女子1 小学女子3 中学女子1 高校女子- 女児計5 成人女性-	
	第一礼拝	男4 女7	※月に一回、書道教室を開催。
	第二礼拝	男6 女10	9/7(月) 月曜家庭集会 男1 女4
	第三礼拝	男3 女6	9/9(水) ネヘミヤ祈禱会 9.2人
	子ども	男児1 女児3	9/11(金) シャベリ場タビタ ※前月の合計平均数 3.6人
※三部制にして、夕拝は休会		9/11(金) 金曜祈禱会	4.0人

諸集会のご案内

書道教室	9/14(月)午前9:30	『エペソ人への手紙』3章17節	書の指導：藤田美保姉
月曜家庭集会	9/14(月)	(休会)	
新潟山形僚禱会	9/16(水)午後7:30	新聖歌19、219、419	※祈りのネットワークを持参
シャベリ場タビタ	9/18(金)		問合せ先：渡邊 智子姉
金曜祈禱会	9/18(金)夜	教会堂	

9/20(日) 聖霊降臨節第17週

第一礼拝 午前8:30～	司会：諸橋英樹兄 集会：沼田佐代子姉	音響：山岸あけみ姉	献金カゴ：片山 勝三兄
第二礼拝 午前10:30～	司会：山崎敬典兄 集会：長谷川睦子姉	音響：小林洋子姉	録画：近伸之牧師 献金カゴ：渡邊 智子姉
教会学校 午後1:00～	担当：片山初子姉	聖書 創世記8:1～9:17 暗唱聖句 創世記9:13	
第三礼拝 午後2:00～	司会：片山浩司兄	音響：近ゆかり姉	献金カゴ：猪爪 和美姉
教会学校奉仕	9/6[近牧師] 9/13[佐藤兄] 9/20[片山姉] 9/27[近牧師]		
ゴミ・掃除当番	1週目[佐藤姉] 2週目[小林姉] 3週目[長谷川姉] 4週目[横堀姉]		
主日の予定	新聖歌：18, 428, 60		

報告

1. 礼拝の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。いただいたみことばを心に留めて新たな一週間を歩みましょう。
2. 個人のこと、他
求道中の坂井聡子さんが信仰の決心をされ、聖書の学びを始めました。教会生活が守られるように続けてお祈りください。
当教会と関わりを持っていた天井保子さんが9月2日に天に召されました。また、中村 正さんは9月4日に天に召されました。ご遺族に主の慰めがあるように祈りましょう。
- 3.

使徒信条

われ 天地の造り主、
全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、
我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、
処女マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、
陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、
全能の父なる神の右に座したまえり。
かこより来りて、
生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪の赦し、
身体のよみがえり、永遠の命を信ず。

アーメン

『ルカの福音書』14章1～6節

1ある安息日に、食事をしようとして、パリサイ派のある指導者の家に入られたとき、みんながじっとイエスを見つめていた。
2そこには、イエスの真つ正面に、水腫をわずらっている人がいた。
3イエスは、律法の専門家、パリサイ人たちに、「安息日に病気を直すことは正しいことですか、それともよくないことですか」と言われた。
4しかし、彼らは黙っていた。それで、イエスはその人を抱いてやし、帰された。
5それから、彼らに言われた。「自分の息子や牛が井戸に落ちたのに、安息日だからといって、すぐに引き上げてやらない者があなたがたのうちにいるでしょうか。」
6彼らは答えることができなかった。



1970年3月、「人類の進歩と調和」をテーマに大阪万博が開幕。半年間で約6400万人が来場し、同年9月13日に閉幕した。大会跡地は記念公園となったが、高さ70mの巨大シンボル、「太陽の塔」はそのまま残された。開催当時、中央広場の大屋根をぶち抜いて塔が顔を出していたが、それは制作者の岡本太郎が「頭を下げてあって馴れ合うだけの調和なんて卑しい」と主張し、すでに広場の建設が決まっていた場所にねじこんだからという逸話が残る。

2020年度教会目標 **「主にとどまり、みことばがとどまる群」**

「あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます」(ヨハネ15:7)



毎週土曜日 朝5:15～5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592

9/19(土)「夫婦で営む、街の台所・2」谷本安奈さん孝輔さん



東京・東久留米市にある「街のお台所 てんと点」は、落ち着いた雰囲気のある店内に、どこか懐かしくてほっこりするお惣菜が並ぶデリカカフェです。コロナ禍のなかにおいても、テイクアウトを中心とすることでお店は盛況です。番組では、お店を営むご夫妻、谷本安奈さんと孝輔さんから、今回は、夫の孝輔さんのお話を中心に、これまでの歩みとお店の魅力を紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGiN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15
TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
ホームページ: <http://toyosakakyokai.net>
電子メール: info@toyosakakyokai.net
ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>

